

進学者激励会

センター試験を目前にした1月16日(金)激励会が行われました。進路対策委員長・PTA会長・三年次委員長も激励に駆けつけてくださいました。

各担任からは「普段通り、いつも通り」「自分を信じなさい」などの励ましがああり、各クラス代表による決意表明では「We Can Do It!」「みんなで頑張りましょう」「自分を信じて!」「骨が折れても心は折れない!」などの発言があり、逞しさを感じさせてくれました。

最後に校長先生とPTAの方々による「鉄腕アトムの舞」激励エールがあり、受験生達に笑顔をくださいました。



2008 修学旅行 関西方面に行ってきました

11月20日(木)から11月23日(日)までの4日間、2年次が修学旅行に行ってきました。

11月下旬でありながら、出発日の朝5時40分の集合時間には雪が降り、冷たい風が吹き付ける中でのスタートとなりました。酒田での雪がまるで嘘のような快晴のもと、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンへ。生徒たちは以前から楽しみにしていたようで、終始笑顔で過ごしていました。



初日はそのまま大阪に宿泊し、2日目は終日クラス別研修。大阪城や清水寺、海遊館、道頓堀散策、なんばグランド花月や神戸北野異人館巡りなど、クラス毎に関西の歴史や文化に触れながら、クラスメイトとの楽しい時間を過ごしたようです。

2日目・3日目は京都に宿泊。3日目の班別自習行動では生徒たちだけの行動になるため、事前にじっくりと行動計画をたて、立ち寄る神社や施設を予習して本番へ。交通機関なども下調べ済みでしたが、秋の京都は紅葉目当ての観光客で大混雑。予定通りの時間配分とはいかなかった班もあったようですが、それもまた経験。それぞれが班のメンバーと協力しながら無事に行動できました。



4日目の最終日には全員で平等院鳳凰堂へ。梵鐘、鳳凰1対、雲中供養菩薩像など数々の国宝を生徒たちは興味深く見学していました。

3泊4日の修学旅行は大きな事故や病気もなく無事に終了。様々な体験を通して学んだことを、今後の生活に活かして行ってください。

当面の行事予定

2月4日	(水)	定着テスト④
2月9日	(月)	休日
2月11日	(水)	建国記念日ですが、登校日!
2月12日	(木)	推薦入試
2月28日	(土)	同窓会入会式・表彰式
3月1日	(日)	卒業式
3月2日	(月)	休日
3月3日	(火)	～6日(金)後期期末考査



後期生徒会総会

12月18日(木)後期生徒会総会が行われました。新会長の神野優美さん率いる酒田西高等学校生徒会が始動し、「温故知新」をスローガンに掲げ、よりよい西高を目指しています!

新生徒会長より

生徒会長になった2年4組の神野優美です。会長に就任して早数ヶ月がたち、初めてのことが多く忙しい日々が続いていますが、楽しく生徒会活動に参加しています。

後期執行部では、「温故知新」をスローガンに活動しています。「温故知新」の意味の通り、110周年を迎えた酒田西高等学校の古き良き伝統からたくさん学び、新しい酒田西高等学校へ前進出来るよう励んでいきたいです。

よりよい学校にするためにも、会長として出来ることは積極的にしていきたいと思ひます。

小学生向け書き初め教室

昨年に引き続き今年も小学生向けの公開講座「きっと上達！お習字教室」を12月26日（金）に行いました。昨年は2日間連続で実施しましたが、日程の都合で1日のみの開講となりました。

天候の悪い中でしたが、7名の小学生が書道室で真剣に書き初めの宿題に取り組みました。2時間ほどの講座でしたが、まだ書き足りない様子の児童もいたようでした。それでも、手応えを感じてか満足した笑顔だったのが印象的でした。

この公開講座は、書道部のボランティア活動でもあります。小学生に紙を渡したり、墨を足してやったりしながら筆の持ち方や書き方のアドバイスなどをしました。普段はなかなか出来ない「教える」経験は貴重なものとなりました。

英語部保育園訪問（ボランティア）



12月22日（月）放課後、英語部は、部活動のボランティア活動の一つとして、泉保育園を訪問しました。顧問のチェルシー先生の専門分野（演劇）を活かして、指導してもらった、“Rudolph The Red-nosed Reindeer”（赤鼻のトナカイ）の劇、“We Wish You A Merry Christmas”の歌を披露し、飴やチョコレートの入ったキャンディーバッグを園児たちにそれぞれげました。全て英語で行った劇でしたが、園児たちは、雰囲気を楽しんでくれて、英語部員のトナカイの格好やジェスチャーをうれしそうに見てくれました。また、サンタクロースに扮した

英語部の男子生徒が、園児たち全員と握手をすると、園児たちは熱狂し、泣く子まで出てきたのには驚きました。園児たちの帰りの時間であったにもかかわらず、その日は、40名近い園児が英語部の訪問を歓迎してくれ、最後にお礼として、サンタクロースの歌を歌ってくれました。園児や保育園の先生方には本当にお世話になりました。また訪問したいと思います。

また英語劇や歌の練習は、部員にとっても、英語の力を高めることにもなり、いい思い出になりました。



市民のための開放講座

今年度は「江戸時代の思想～アカデミズムとジャーナリズム（庶民と学問）」というテーマで開放講座を全部で5回開講し、1月の時点で第4回を終了しております。

各回、小学生や20代から70代までの男女を問わず20名前後、回によってはそれを以上の出席者を迎えて聴講いただいております。強風で列車が止まってもなお駆けつけてくださる方もおり、何よりも聴講なさっている市民の皆さんの学問に対する好奇心・探究心に敬服するところでもあります。

タウン誌・新聞・広報などで広く市民にPRし、「学問・研究すること」の面白さを広く市民に知ってもらうことを意図したためか、酒田市内のみならず、鶴岡市・庄内町・遊佐町の方からも来校いただいております。学問としてのレベルを下げることなく、できるだけ最近の学会の動向を踏まえ、パワーポイントなどを利用しわかりやすく講義しています。貴重な原典史料のコピーを提供するなど「お土産」も準備しております。

第1回は「戯作の中の学問・科学」として、学問を茶化した戯作者のウイットとか西洋の文物を戯化した草双子を紹介し、庶民の知的好奇心を考えてみました。第2回では「江戸時代の医学思想」と題して、漢方医の方法や漢方と西洋医学との違い、生命の本体は心臓か脳かの問題、さらには医聖崇拜・医師の収入にまで話題を広げました。第3回では、身近な神社（ウブスナ社）のカミの機能について国学者の言説を紹介し、ユニークな発想に楽しんでいただけた場面もありました。第4回は日本・天皇観の話や国学者の宇宙論の講義で、その独創性を紹介しました。

聴講者からは「江戸の人たちもユーモアがあって面白い。」「漢方と今の医学の違いがなんとなくわかった。現在の漢方医学はどうなっているのか。」「話を聞いて近くの神社に行ってみたくなった。」「少し難しかったけれどもおもしろかった。」など好意的な感想や質問をいただいております。

限られた少ない講座回数・時間ではありますが、市民の皆さんとコミュニケーションをとれたということと、日本思想史という学問のおもしろさ、西高にそうした分野を研究している教員がいるのだということを知っていただくことが出来てうれしく思います。第5回（最終回）は2月7日（土）午前10時より、これまでのまとめとして江戸時代の学者の在り方について考えてみます。



伝統医学と解体新書の比較を説明しているところ



熱心に聞き入る市民の皆さん